

協働を推進する取り組み1-1

ちょっとボランティア



«「ちょっと」から始めるボランティア»
市民がボランティアを始めるきっかけ作りに取り組んでいます。

今年度はコロナ禍で福祉施設などのボランティア活動が制限される中、自宅で気軽に始められる手作り雑巾ボランティア活動を企画しました。家から地域へ、皆さんの気持ちを届けましょう！！

＜参加方法＞
手作り雑巾ボランティア活動への参加方法は、広報野々市お知らせ版1月号4ページを見てください。

«気付いて、つなぐ・・・»

日常生活の困りごとを気軽に相談できるまちづくりを目指して「まちかどサポーター」を養成しています。地域で活動する団体や事業所にサポーターがいることで、さりげなく見守り、必要な時には関係機関につなぐことができます。

コロナ禍で養成講座を開催し新たなサポーターを増やすことが難しいなか、現任のサポーター同士のつながりを深め、知識向上を図る目的で「まちサポだより」を定期的に発行していきます！

協働を推進する取り組み1-2

まちかどサポーター



協働を推進する取り組み2

支え合い



«支え合える地域を作りたい»

これまで『地域支え合いマップ』を通して、市民の皆さんや地域包括支援センターと共に、ごみ出しや除雪、見守りなどの身近な地域（主に町内会）での支え合いを進めてきました。今後は、これまでの活動の成果を『地域の宝物』として市内で共有できるよう見える化を図り、さらに野々市市の支え合いに活用できるよう取り組んでいきます。

協働を推進する取り組み3

集う場を充実させよう



«プランター部発足2年目！»

農園を通して集う場を作っていましたが、農園に加え『プランター部』を昨年発足しました。自分のプランターを農園の周りに並べ、それぞれ部員が野菜を育てます。畑にはベテラン市民がいるため、初めての人も育てることが出来ます。今年は3つの密に気を付けながらですが、子どもからお年寄りまで多世代が集まり、自然と交流が生まれました。これからも気軽に集える場を広げていきます。

地域のつながり 今こそ大切に



コロナ禍でさまざまな制約が求められる中、地域のつながりを大切にしている市民の活動を紹介します。

野々市市では、平成25年に市社会福祉協議会とともに「野々市市地域福祉計画」を一体的に策定しました。この計画は、地域福祉の課題解決に必要な市民活動の推進と、そのしくみづくりを目的としています。

計画におけるこれまでの取り組みにより、地域のさまざまな立場の人々が福祉に関心を寄せ、活動に関わる人も少しずつ増えました。今年はコロナ禍で多くの市民が集う活動ができるませんでしたが、計画において重点化する「協働」を推進する取り組みで、協働が多くの市民が集う活動ができるようになりました。今年はコロナ禍で多くの市民が集う活動ができるませんでしたが、計画において重点化する「協働」を推進する取り組みで、協働が多くの市民が集う活動ができるようになりました。



おうちで始める
ちょっとボランティアで
集まった雑巾やマスク
を届けました。



ボランティア活動に興味のある人は、
下記まで問い合わせください。
福祉総務課
市社会福祉協議会

☎076-227-6061
☎076-246-0112

«民生委員活動も変わります！»

地域福祉の担い手である民生委員・児童委員も、コロナ禍で活動継続のための検討が必要となりました。高齢者などへの定期的な見守り訪問も一時は電話による安否確認に切り替えましたが、民生委員同士の情報共有や勉強会、研修会についても「密」を避ける観点から、充分な活動が困難となりました。そこで、民生委員同士の情報共有や研修会にオンラインで参加を可能とするためタブレットの導入に踏み切りました！今後は、「結ネット」も活用し、コロナ禍における安全・安心のネットワークの強化や、高齢者などの安否確認・相談などへの活用も検討していきます。

